

「ためになる、楽しい」学会づくりを目指して

# WJVF 第1回大会

## 抄録

「1+1を3に、そして1+1を1(ひとつ)に」

  
2010年JAHA年次大会

+

  
2010年JBVP大阪大会

=

  
WJVF  
WEST JAPAN  
VETERINARY FORUM  
WJVF 第1回大会

平成22年6月19日(土)・20日(日)

大阪国際交流センター(大阪市天王寺区上本町8-2-6)

主催：公益社団法人日本動物病院福祉協会(JAHA)／一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム(JBVP)

協力：一般社団法人日本動物看護職協会／ネオベッツ

後援：厚生労働省、農林水産省、環境省、大阪府、大阪市、社団法人日本獣医師会、社団法人滋賀県獣医師会、社団法人京都府獣医師会、社団法人大阪府獣医師会、社団法人兵庫県獣医師会、社団法人奈良県獣医師会、社団法人和歌山県獣医師会、社団法人京都市獣医師会、社団法人大阪市獣医師会、社団法人神戸市獣医師会、一般社団法人日本小動物獣医師会、獣医麻酔外科学会、獣医神経病学会、中部小動物臨床研究会、日本獣医がん学会、日本獣医内科学アカデミー、全日本獣医師協同組合、日本動物看護学会、特定非営利活動法人日本動物衛生看護師協会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、財団法人長寿社会開発センター、公益社団法人日本愛玩動物協会、財団法人日本動物愛護協会、社団法人日本動物福祉協会、特定非営利活動法人動物愛護社会化推進協会、動物との共生を考える連絡会、社会福祉法人日本ライトハウス、社会福祉法人日本聴導犬協会、社会福祉法人日本介助犬協会、特定非営利活動法人日本介助犬アカデミー、特定非営利活動法人日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ、特定非営利活動法人日本ペットドッグトレーナーズ協会、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会、特定非営利活動法人Knots、ヒトと動物の関係学会、優良家庭犬普及協会

## CAPP活動を構成する4つの要素—（受ける側、行うもの、施設スタッフ、取り巻く社会）の変化と展望

発表者名：佐々木由枝

共同演者名：内川良子<sup>1)</sup> 小池寿恵<sup>1)</sup>

小林さちこ<sup>1)</sup> 山岸紀子<sup>1)</sup>

笠原りか子<sup>2)</sup>

佐々木厚<sup>3)</sup> 阿保文美<sup>3)</sup>

所属：1) 組合立) 諏訪中央病院

2) CAPP訪問活動ボランティア

3) 岡谷動物病院

---

### 【目的】

4年間行ってきたCAPP活動を振り返り、分析し評価し、課題を今後の活動に生かす。

### 【方法】

ロビー写真展、病棟研修会でのCAPP説明会、それを受けての病院看護介護スタッフからのアンケート内容、病院の専門雑誌への投稿内容を書き出しまとめ考察した。

4つの要素—（受ける側、行うもの、施設スタッフ、取り巻く社会）の変化をそれぞれにまとめ、今後の課題を提起した。

### 【結果】

- ・ 地道な活動を続けることで周囲の理解、評価は得られる
- ・ 病棟研修会でリハビリスタッフの意見を取り入れ、理学療法士や作業療法士にCAPP活動を理解し評価してもらうことが活動の中を広げる上で役立った。

### 【考察】

- ・ CAPP活動の計画には看護師側の人員確保と保険点数などの問題が生じる。
- ・ 医療関係者には継続的に活動の目的や効果を公表し、常にコミュニケーションをとることで新たなより効果的な活動を行う協力者、評価者を得ることができる。
- ・ それがボランティアの育成と活動継続意欲の向上に役立つ。